



暦の上では「春」

【校長 太田 謙二】

ついこの間、2021年を迎えたと思っていたのに、はや1か月が経ち、今日から2月です。でも、まだまだ寒い日が続いており、温かい春の日差しが待ち遠しいという感じです。今年の立春は、2月3日。元々「季節の分かれ目」という意味の節分は、立春の前日なので、なんと今年は2月2日となります。今まで、節分は2月3日だとばかり思っていたのですが……。2月2日になるのは明治30年以来、実に124年ぶりのことだそうです。

節分の日に、災いや災難をお祓いする行事が、豆まきの由来になったと言われています。まさにコロナ禍の中、124年ぶりの節分の日に、「鬼は外、福は内」と言って、各御家庭で、ぜひ豆まきを試みてはどうでしょうか。



さて、今学校では、どの学年・学級も体育の時間や休憩時間などで、大なわにチャレンジしています。当然、得意な子も苦手な子もいると思いますが、声かけあって練習し、みんなで自分たちの記録更新を目指して、チャレンジしていくことに意味があると思います。寒さに負けず、協力してどんどん記録を伸ばしていって欲しいと思います。



例年この時期、インフルエンザが猛威を振るっているのですが、今年は新型コロナウイルス感染症対策をしているおかげか、今のところ全国的に流行の気配はありません。それはうれしいことですが、一方で新型コロナウイルス感染症のため、11都府県に緊急事態宣言が出されており、なかなか感染者が減少する気配を見せていません。今まで以上に、感染症対策を徹底していかなければいけないと強く感じています。

今年度もあと2か月。いい締めくくりをして、そして、来年度へいい形でつなげられるよう、子供たちをしっかりと指導してまいります。保護者の皆さま、地域の皆さま、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

